

2 南北軸の強化と拠点性の向上

2.1 南北道路の整備によるラダー状道路網の構築

復興における神戸地域の道路ネットワークについては、南北方向道路の交通容量と、災害時における道路網信頼性の確保の観点から、市内道路のラダー状ネットワークの整備が必要である。そのため、被災地区の復興事業においては、南北方向の道路用地確保や、既設の鉄道及び道路など横断構造物の耐震強化と交差部の道路拡幅などを行うべきである。

戦災復興時の神戸市復興基本計画要綱にも述べられているが、こうした道路網整備を行うことによって、神戸地域の課題である南北方向の交通需要に対応するとともに、国土幹線を含む複数路線よりなる東西方向道路を相互に連結することにより災害時における信頼性の向上を図ることができる。また、街区整備の観点からも、広幅員の道路によって適切な間隔で街区を分割することにより、災害時の避難路の確保、火災延焼の防止などを図ることができよう。

2.2 鉄道駅を結ぶ南北軸整備による被災地区の復興促進

東西に平行して走る、複数の鉄道路線の近接する駅を広場や街路によって結合し、被災地区の南北軸を強化して、地域の拠点性を大幅に高めるとともに、快適な空間づくりを進めるべきである。

阪神地域の交通上の特性の一つは、鉄道の旅客輸送に占める役割が高く、しかも複数の鉄道路線が近接して立地している点である。復興にあたってはこの点を生かし、商業・業務市街地復興の核として鉄道駅を積極的に活用することが必要である。その際、長期的には異なる鉄道路線の近接する駅を広場や広幅員の街路で結合し、一体的に整備することによって地域の拠点性を大幅に高め、同時に歩行者を中心に置いた緑豊かで快適な空間づくりを進めることが望まれる。特に被災の著しかった地域で実現可能性を検討することが期待される。この軸を海岸方向に延長し、臨海地区の整備と一体化することも考えられる。このような都市軸形成が当面は難しくとも、長期的課題として取り組むべきである。なお、こうした防災上も重要な南北軸を横断する跨道橋などの構造物の耐震性強化には、特段の配慮が必要であることは言うまでもない。

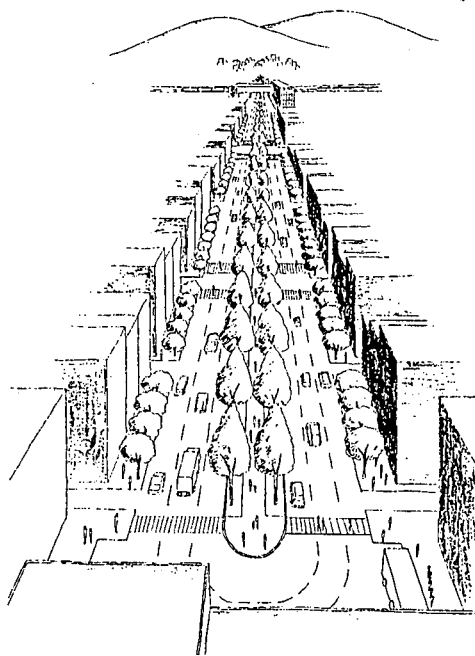


図5 鉄道駅を結ぶ南北軸のイメージ

2.3 鉄道ネットワーク整備による被災市街地の拠点性向上

神戸の都心・三宮や西の副都心と位置づけられる長田地区など、被災の著しかった地区の復興促進を図るため、鉄道ネットワークの機能をさらに充実することにより地域の交通拠点性を増強するべきである。

神戸は、带状の狭い地域に多くの鉄道が運営され、また戦災復興時の提案を契機にして建設された神戸高速鉄道により、市街地を地下貫通して複数の鉄道が相互連絡運行されるなど、鉄道網整備の点では先駆的かつ恵まれた地域といえる。今回の震災でも、北神急行を経由した迂回ルートを活用や、2月中旬より開始されたＪＲ・阪神と阪急との乗り継ぎによる阪神間連絡の実現などにみられるように、この恵まれたネットワークの存在によって助けられた側面は少なくない。

復興にあたっては、こうした鉄道ネットワークの機能をさらに充実し、被災の著しかった地区の交通拠点性を増強することによって、地域振興の加速促進を図ることが重要である。とりわけ、都心・三宮や西の副都心と位置づけられる長田地区、メリケンパーク地区の復興には、現在計画されている路線を含め、地下鉄網の建設促進など、こういった視点からの特段の配慮が必要であろう。

2.4 河川を利用した機能複合空間の創出

災害時には救援活動などのための空間として用いることのできる、多目的の空間を河川に設け、常時には川沿いの空間をレクリエーション等の人が集まる場所として積極的に活用する。

- 1)川沿いを带状公園・プロムナードとし、非常時には、救援活動などのためのスペースとして用いる。同時に、防災遮断帯としての機能も期待する。
- 2)災害時の防火用水、生活用水確保のための手動堰上げシステムを設計し、日常時にはそれを堰上げ競争、魚釣り大会等のイベントの道具として活用する。堰上げのシステムは、災害時でも故障せず、必要最低限の機能を確実に発揮できるように、なるべく原始的なもの（杭の間に木のパネルをはめ込んでゆくような方式）が望ましい。

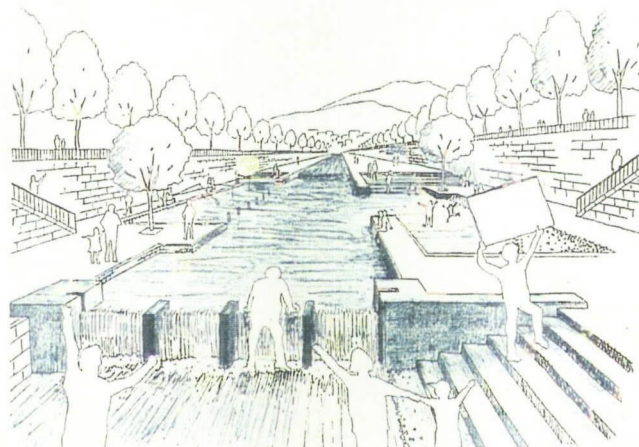


図6 河川を利用した機能複合空間のイメージ

2.5 観光都市神戸の新たな顔づくり

都心三宮地区と各地に点在する観光拠点を、プロムナード、公園などによって有機的に結びつけ、観光都市神戸としての性格をより明確に打ち出し、新たな都市の顔づくりを行っていくような復興計画が望まれる。市街地の徹底した緑化の努力が望まれる。また、今回の歴史的な大震災の記憶は、市民の心の中のみならず、都市の中にも刻印されてゆくべきものであり、復興記念公園をもそのネットワークの中に組み込むことが望まれる。

1) 神戸地域は、北部六甲山系に囲まれ、歴史的街区や商業空間および日本最大規模の臨海空間を有する観光資源の豊富な地域である。この地域の復興にあたっては、こうした側面を強調した事業が重要な役割を持つものであり、本格的都市復興の一つの目標であると考えられる。

2) 神戸地域は六甲山系の緑はあるものの市街地内のまとまった緑は少ない。復興に際しては徹底した緑化の推進が必要であり、日本の都市づくりの手本ともなる風格ある神戸地域の復興が期待される。

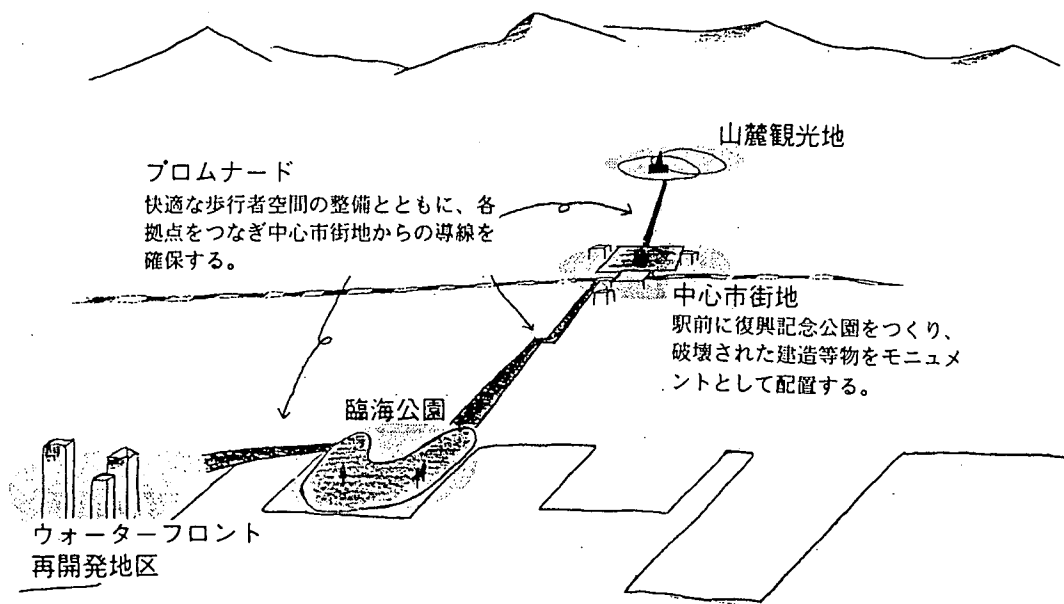


図7 観光都市神戸の新たな顔づくり